

重点戦略

3 豊富な田園資源を活かした儲かる農業の実現

意欲ある担い手への農地の利用集積・集約化を推進するとともに、需要に応じた多様な米生産への取組を進めます。

園芸作物の導入による経営の複合化や、大規模な園芸産地の形成、6次産業化や農商工連携を進めるとともに、スマート農業技術やデジタル技術の導入を支援することで、生産性・収益性の向上を図ります。

さらに園芸作物の生産拡大とあわせて多様な販売先を確保するため、オール新潟体制で新たな需要開拓や市内農産物のPR活動に積極的に取り組みます。また、子どもたちが農業や食文化に触れ、理解を深める機会の拡大にも取り組みます。

事業名	事業概要	予算額
「儲かる農業」に向けた農業生産基盤の整備・保全		
【拡充】 未来へつなぐ地域農業支援事業	効率的な農業経営に向け、簡易なほ場整備を推進するとともに、「田んぼダム」の取組地域において、国事業を活用した農業用排水路等の更新整備を支援します。また、農地バンクを活用した分散農地の集約化と合わせ、農業法人の経営発展に向けた設備投資を推進します。	(繰越分) 15,100 千円 16,535 千円
【拡充】 猛暑・高温対策栽培体系確立事業	猛暑・高温による園芸作物の品質低下や収量減少などの影響緩和対策として、新潟県、JA、市場と連携しながら、新たな昇温抑制技術や耐暑性品種を取り入れた試験研究に重点的に取り組み、本市の環境や産地の実情に即した新技術・新品種の普及・実装を図ります。	5,000 千円
機構集積協力金事業	地域の中心となる経営体への農地集積や分散化している農地の集約化を円滑に進めるため、農地中間管理機構を通じた農地集積・集約化に取り組む地域を支援します。	89,570 千円
ほ場整備の推進	本市農業の競争力向上に繋がる、農地の大区画化や汎用化を促進し、併せて、担い手への農地の集積・集約を進めるために、ほ場整備事業を支援します。	(繰越分) 305,200 千円 77,817 千円
農業水利施設等の保全管理・長寿命化	市域の25%がゼロメートル地帯である本市において、豊かな農業生産を支え、都市部における安心・安全な生活を守る農業水利施設の適正な維持管理・整備更新を図るとともに、老朽化した施設の長寿命化対策を進めます。	569,716 千円
新たな需要に応える農産物の生産体制の強化		
元気な農業応援事業 (再掲)	本市農業の持続的発展と、効率的で安定した農業の担い手の育成を目的に、需要に応じた米生産や園芸作物導入による経営の複合化、規模拡大や経営改善、農産物の付加価値向上のほか、園芸産地づくりに向けた取組を支援します。	777,300 千円
地域資源を活用し、コミュニティの活力を創出		
【拡充】 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮	農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農用地・水路・農道等の地域資源の適切な保全管理の推進を目的に、農業者や地域住民が実施する共同活動を支援します。また、活動組織の体制強化や地域共同で行う環境負荷低減の取組を促進します。	1,636,076 千円
6次産業化サポート事業	農業者や食品関連事業者を対象に、農産物の付加価値向上に向けた相談業務やセミナーを実施するほか、新たな事業展開に必要な加工機械・施設の導入等を支援することで、6次産業化や農商工連携の取り組みを進めます。	4,546 千円
起業・創業しやすい環境づくり		
DXプラットフォーム推進事業 (再掲)	異分野・異業種間の企業や人、技術やデータなどを繋ぐDXプラットフォームを通じて、DXの推進と新規事業開発を加速させるため、企業のイノベーション創出のサイクルを定着させる実践型プログラムを実施するとともに、事業化に向けた実証実験に係る経費を補助し、共創によるイノベーションの創出を図ります。	12,000 千円
生産性向上と持続性の両立に向けたスマート農業技術の導入促進		
みどりの農業推進事業 (J-クレジット普及推進事業)	温室効果ガスの排出削減量・吸収量を国が認証する「J-クレジット制度 (AG005:水稲栽培における中干し期間の延長)」を活用し、環境に配慮した持続可能な農業を推進するとともに、事業で得られたクレジットにより、地域農業や企業の環境保全活動の活性化を図ります。	3,000 千円

事業名	事業概要	予算額
生産性向上と持続性の両立に向けたスマート農業技術の導入促進(つづき)		
農業脱炭素・SDGs推進事業 (再掲)	持続可能な農業の実現を目的に、農業DXによる生産性・収益性の向上や、農業における脱炭素化や環境負荷低減に向け農業者が提案するモデル事業を支援します。	4,000 千円
所得拡大に向けた販売力の強化		
農産物販売力強化促進事業 (再掲)	儲かる農業の実現に向け、県や農業団体と連携して、首都圏をはじめとする国内や海外の販路開拓・販売促進につなげます。	6,000 千円
食と花の世界フォーラム (再掲)	産官学で構成する食と花の世界フォーラム組織委員会による食の国際見本市「フードメッセinにいがた」の開催などを通じ、本市の強みである食と農の新たなビジネスチャンスにつなげます。	29,600 千円
新潟の農水産物と食文化を全国に発信		
【新規】農産物ブランド力強化促進事業	本市農産物のブランド力を強化するため、地域活性化起業者の派遣を受けて、民間の専門的なノウハウや知見、ネットワークを活かし、本市の「食」や「農」の魅力の掘り起こしや磨き上げに取り組みます。	6,600 千円
海外ビジネス支援事業 (再掲)	本市の強みである「食」分野を中心に、海外バイヤー等との商談機会を創出し、市内企業等の海外販路開拓を支援します。	5,800 千円
食文化創造都市の推進 (再掲)	食や食文化を通して新たな地域交流を生み出すため、民間事業者の食を活用した取組を支援します。また、料理人や飲食店、生産者等と連携したプロモーションを実施することで、市産農水産物や食文化の認知度及び関心の向上につなげます。	3,077 千円
食と花のまちなかマルシェ支援事業 (再掲)	にいがた2kmエリアにおいて、食と花の魅力を発信するマルシェの開催を通じ、農村と都市の交流やまちの賑わい創出を図る事業者を支援します。	5,400 千円
意欲ある担い手等の確保・育成		
にいがたagribase事業	新規就農者の栽培技術向上をはじめ、経営安定化のため、伴走型の支援を行うほか、親元等で就農する農業者を支援するなど新規就農者の確保・育成に取り組みます。	27,000 千円
新規就農者経営開始資金	独立・自営する認定新規就農者の、初期投資の軽減や経営の安定化を図るため、経営開始資金の支援を行います。	23,400 千円
食と農への理解促進とシビックプライドの醸成		
食と農のわくわくSDGs学習推進事業	主に小学校高学年から専門学校・大学までを対象とした食と農に関する探究的な学習を推進し、本市の豊かな食や農への理解を深め、地域への誇りや愛着、生きる力を培うとともに、本市の農業や食品産業を支える人材づくりにつなげます。	5,156 千円
食と花の交流センターの管理運営、食育・花育センターの管理運営	本市が誇る食と花の魅力を生内外に発信し、多くの人にその魅力に触れる機会を提供することにより、食と花の販路拡大及び農村と都市の交流を推進します。また、食と花を一体的に学ぶことができる場を提供することにより、市民の食育及び花育を推進します。	114,036 千円
食育推進事業	食育推進計画に基づき、本市の特色ある基盤を生かした食育活動を推進し、市民の食育に関する理解と関心を深めます。特に、食の課題が多い若い世代に向けて、大学や企業等と連携しながら重点的に働きかけ、食に対する興味・関心を高める取り組みを実施します。	2,261 千円
林業・水産業の環境整備		
森林経営管理事業	森林資源の適切な管理を推進するため、森林経営管理制度に基づく意向調査、間伐などを行います。	24,000 千円

事業名	事業概要	予算額
林業・水産業の環境整備(つづき)		
みんなの森林づくり支援事業	市民と協働して海岸保安林等の森林環境を保全するため、森林整備ボランティア団体等への支援を行います。	2,450 千円
水産物供給基盤機能保全事業	国の補助事業を活用し、松浜漁港における「水産物基盤機能保全事業基本計画」の策定および「海岸メンテナンス事業計画」に基づいた漁港施設の長寿命化および効率的な維持管理をおこないます。	(繰越分) 30,000 千円
		78,000 千円